

普通木毛セメント板・ロックウール吸音板 複合板

WFB ダブルファイバーボード

硬質木毛セメント板・ロックウール吸音板 複合板

WFB-S ダブルファイバーボードS

耐火性能に音響性能を付与しました

ロックウール吸音板を組合せて吸音性能と意匠性が向上し、屋根30分耐火構造認定を取得しました。多岐にわたる屋根デザインに対応できます。



FPO30RF-0116
FPO30RF-0281
FPO30RF-0282
FPO30RF-0283
FPO30RF-0284
FPO30RF-0286



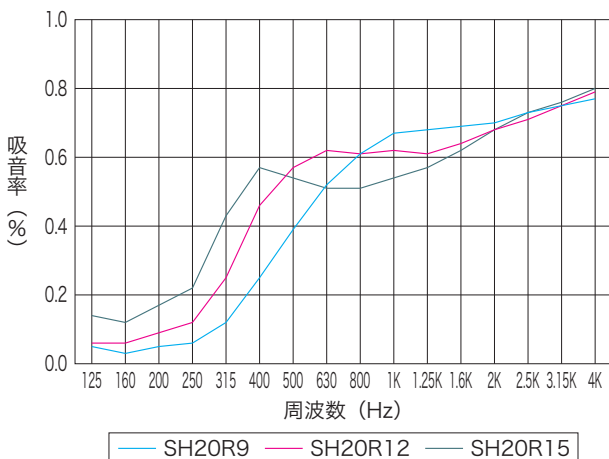
第90号

規格性能

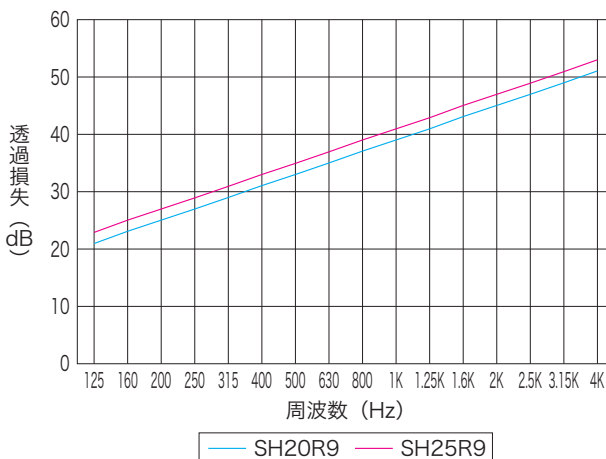
品番	製品規格					強度性能				断熱性能			
	寸法 [mm]	木毛セメント板 [mm]	ロックウール	総厚	許容差 [mm]	質量 [kg/m ²]	曲げ破壊荷重 [N]	たわみ [mm]	ビス引抜き強度 [N]	ビス貫通引抜き強度 [N]	熱抵抗値 [mk/W]	熱貫流率 [W/m ² K]	
ダブルファイバーボード	910 × 1,820	普通	EN20R9	20	9	29	15	550以上	9以下	-	-	0.383	1.962
			EN20R12	20	12	32	16					0.437	1.775
			EN20R15	20	15	35	18					0.490	1.621
			EN25R9	25	9	34	18	720以上	8以下	-	-	0.438	1.769
			EN25R12	25	12	37	19					0.492	1.616
			EN25R15	25	15	40	21					0.546	1.487
			EN30R9	30	9	39	21	880以上	7以下	-	-	0.494	2.024
			EN30R12	30	12	42	22					0.548	1.826
			EN30R15	30	15	45	24					0.601	1.663
			EN40R9	40	9	49	27	1,320以上	6以下	-	-	0.605	1.652
			EN40R12	40	12	52	28					0.659	1.518
			EN40R15	40	15	55	30					0.712	1.404
			EN50R9	50	9	59	33	1,760以上	5以下	-	-	0.716	1.396
			EN50R12	50	12	62	34					0.770	1.299
			EN50R15	50	15	65	36					0.823	1.214
ダブルファイバーボードS		硬質	SH20R9	20	9	29	23	1,560以上	7以下	1,000以上	2,000以上	0.315	3.179
			SH20R12	20	12	32	24					0.368	2.716
			SH20R15	20	15	35	26					0.422	2.371
			SH25R9	25	9	34	28	2,160以上	6以下	1,300以上	2,500以上	0.353	2.833
			SH25R12	25	12	37	29					0.407	2.459
			SH25R15	25	15	40	31					0.460	2.173

熱貫流率について、表面熱伝達率は考慮していません。

吸音性能 ※ロックウール吸音板 (トラパーチン)



遮音性能 ※硬質木毛セメント板



⚠️ ロックウールは非常に水に弱い製品ですので、取扱いは十分に気をつけてください。

断熱

吸音

遮音

強度

意匠

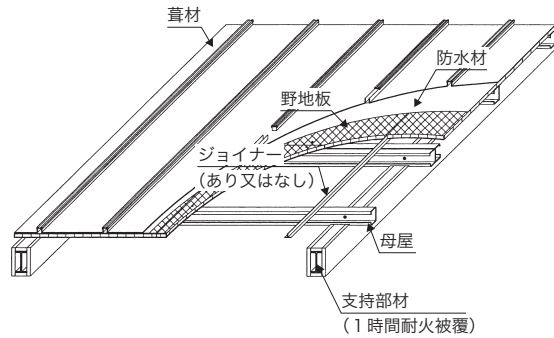
■屋根30分耐火構造

ダブルファイバーボード

FP030RF-0116

屋根の種類	金属板
野地板	木毛セメント板 t20mm以上 ロックウール吸音板 t9mm以上
ジョイナー	あり 又は なし
支持部材	一般構造用圧延鋼材 間隔2,000mm以下 母屋C-100×50×20×2.3mm以上 間隔606mm以下

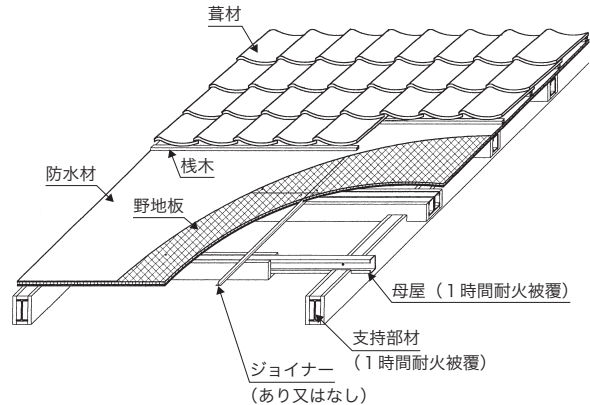
※ジョイント部分に隙間が生じる可能性がありますのでジョイナーの使用をお薦めします。また、経年劣化等によるロックウール吸音板落下防止にもつながります。



ダブルファイバーボードS

屋根の種類	FP030RF-0281	粘土瓦
	FP030RF-0282	化粧スレート
	FP030RF-0283	不燃シングル
	FP030RF-0284、0285	金属板 (保温板裏張あり)
	FP030RF-0286、0287	金属板 (保温板裏張なし)
野地板	硬質木毛セメント板 t20mm以上 ロックウール吸音板 t9mm以上	
ジョイナー	あり 又は なし	
支持部材	一般構造用圧延鋼材 間隔; 構造計算等によって安全性が確かめられた寸法 母屋C-100×50×20×2.3mm以上 間隔606mm以下	

※ジョイント部分に隙間が生じる可能性がありますのでジョイナーの使用をお薦めします。また、経年劣化等によるロックウール吸音板のたわみや落下防止にもつながります。



■保管上の注意

- ・火気及び水気には十分に注意してください。
- ・屋内の平滑なところに保管してください。やむを得ず屋外に保管する場合は防水シートなどにより直射日光や風雨を防止してください。
- ・保管する際は地面に直接置かず、必ず3本以上の枕木の上に置いてください。
- ・積み上げ高さは3m以下としてください。

■移動上の注意

- ・傷や欠けなど損傷の無いように十分に注意してください。
- ・吊り上げる際はボードと吊り上げ器具との間に当て物をして傷つかないように配慮してください。
- ・1枚ずつ運ぶ際は水平に持つのは避け、縦にして運んでください。

■施工上の注意

- ・ボードは表裏があります。性能は変わりませんが化粧仕上げなどの場合には十分に注意してください。
- ・使用している原料が天然素材ですので、色や質感に多少の誤差があります。
- ・ボードの性質上、ジョイント部分に隙間が生じる場合があります。母屋 (垂木) と直交するジョイント部にジョイナーをご使用いただくことで解消されますし、経年変化によるボードのたわみ防止にも役立ちます。
- ・商品によっては留め付ける際に若干沈む場合がありますので、留め付け強度に注意してください。
- ・ボードの施工後は速やかに防水材、表面材を施工してください。
- ・ボードが濡れた場合は十分乾燥させた後、次の工程を行ってください。濡れたままの施工は、しみ、汚れ、波うち、強度低下等の原因になります。
- ・施工後の環境によっては反りや膨張、収縮が起こる可能性があります。
- ・母屋 (垂木) の上に仮置きする場合は導板を使用し、重量には十分に注意してください。また、はね出して置かないよう配慮してください。
- ・工事中の屋根の上を歩行する場合は必ず導板の上を歩いてください。
- ・切断時には粉塵が発生しますので、粉塵吸引装置を設置し作業服を着用の上、防塵マスクや防護メガネ等を使用してください。
- ・粉塵が目に入った場合は、こすらずきれいな流水で洗浄してください。粉塵を吸引した場合は、うがいをして洗い流してください。
- ・ご不明な点がございましたら、メーカー又は特約店にお問い合わせください。

製
造
元

株式会社 栄進工業

〒689-0603 鳥取県東伯郡湯梨浜町小浜756-3

TEL (0858)34-2711 FAX (0858)34-2712

✉ info@eishinkougyo.jp 🖥 http://www.eishinkougyo.jp

受付時間 8:00~17:00 (土日祝日及び弊社指定休日を除く)



日本産業規格
(JIS A 5404)
TC 06 08 045